

地域市場再発見/中国特集

ディーラーで採用始まったRFタグ容器管理 呉市の浪速工業所、本年5月からスタート

新しい容器管理の手法、RFタグは、広島地区で今年4月から実運用を開始しているが、呉市の販売店、浪速工業所（呉市中通1丁目、三十日（みとおか）直幸社長）では、RFタグを使った容器管理を今年5月から実施している。ディーラーでのRFタグ実運用は全国でも初の試みで注目されている。

同社は、戦後復興の1947年創業で、鉄鋼と造船の街、呉市を中心にガス・溶材を販売している。社名の浪速というのは、創業者が戦後復興期の呉市で商売を始めたときに仕入先が大阪だったことから、つけられたという。売上の約4割が溶材、3割がガス、残り3割が溶接機などの機器類という販売構成。従業員数



様々な形状のRFタグが貼付されている

は11名の所帯で、これまで容器管理は、もっぱら手書きで対応していた。

「私どもの扱い本数では、バーコードシステムは投資が高み過ぎる」（三十日社長）からだった。そこに今年2月ごろクラウドコンピューティングを利用した新しい低コストの容器管理システムがあると取引関係のある岩谷産業から説明を受け、導入の検討に入ったのである。このシステムは、本誌No.699で既報のように岩谷情報システムが開発したもので、インターネッ



浪速工業所 三十日社長



読み取り作業

トを通じて、容器管理に必要なソフトやデータベースの提供を受けるというもの。ユーザサイドは、パソコン、インターネット環境、ハンディターミナルなどを準備するだけで、月々2万円の利用料だけでいつでもコンピュータによる容器管理が始められる。数百万円とされる容器管理システム投資が負担となる販売店にとって容器管理を導入しやすい環境を提供した。

浪速工業所では、既存のパソコンとインターネットを活用することで、月々2万円の利用料で容器管理を実施した。また、広島地区では別掲記事にあるようにRFタグを取り付けた高圧ガス容器の実運用が始まっている。イワタニのクラウド容器管理システムはRFタグにも対応しており、RFタグによる容器管理にも取り組むことになったのである。

「RFタグについてはJIMGA主導で導入が進められていると聞き、いずれ対応が必要と考え、思い切って導入に踏み切った」という。「ハンディを使用する容器管理自体が始めての取り組みだったが、メーカーさんのサポートデスクで、不明点をフォローしていただき、トラブルなく進め

ている。容器管理や使用料請求に必要な機能が全て入っており、しかも低コストで利用できるのは嬉しい」とする。

4台の配送トラックに一台づつハンディとプリンターを設置、容器の受入、出荷、客先からの回収時にRFタグをハンディで読み取っている。バーコード付の容器も取り扱っているが、一台のハンディで、バーコードもRFタグも読めるため、業務はスムーズという。

容器管理システム導入の効果として、三十日社長が挙げるのは、正確性とスピードの向上だが、特にRFタグの利点として、空瓶回収時の受領書に容器利用日数が表示されることを挙げる。タグ自身に容器情報が載っているため、容器の早期回収や長期停滞の防止につながる機能として重宝しているという。

呉地区でも建設・公共工事減少によるシリンドー市場の減少は、ジワリと進んでおり、2012年以降の造船の仕事量減少も懸念される。「需要縮小が予想されるだけに、業務の効率化は不可欠。今後は売上・経理システムとの連携を図り、より機能的にシステムを利用していきたい」と語る。

広島地区はRFタグ実運用の場 岩谷瓦斯広島工場1万本の容器にタグ取り付け

JIMGA、RFタグ導入の一環として、広島地区ではRFタグを取り付けた高圧ガス容器の実運用が本年4月より始まっている。岩谷瓦斯広島工場（広島市安芸区）を舞台に同所で充填されるイワタニグループのシリンドラー、カードル、LGCなどすべてのガス容器を対象にRFタグが取り付けられ、実際の消費先へと配送されている。

同所で委託充填を行なっている大陽日酸系のサーンテックのアセチレン容器も、RFタグによる運用を開始、メーカーの垣根を越えて共通コードによる容器認証が行なわれている。



酸・窒素・アルゴン・アセチレンなど様々な容器にRFタグが取り付けられている

岩谷瓦斯広島工場によると

「イワタニグループ容器へのタグ取り付けのピークは、6月までで現在（8月末）は、客先から返ってくる容器の6割にタグが取り付けられている」とし、「タグの破損や脱落といったトラブルはなく、順調です」と話す。7月末時点でおよそ4割の容器にタグ取り付けが終了したという。

広島工場では、容器の受入、充填、出荷の3回タグの読み取りを行なっている。工場内にはタグを取り付けていないバーコード仕様の他社容器も多いが、「読み取り作業は、タグとバーコードどちらも読み取れるハンディがあり、作業性に特別支障はない」（同社）という。

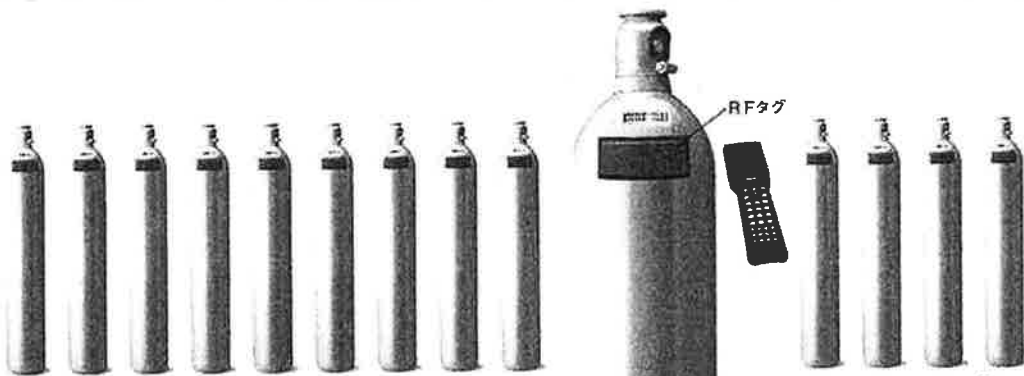


読み取りはバーコードと同じハンディで行える

RFタグの特長は、離れた場所からの一括読み取りだが、バーコード容器と混在している現状では、充填所などの工場での作業性の改善には、今のところ至っていない。「現状は、移行の過渡期であり、工場での作業性よりも、むしろタグ自身に容器情報が付加されていることによる取引上のサービス向上と保安向上メリットをいかしていたきたい」（岩谷産業企画業務部）とする。「多くのメーカー、販売店がタグの機能を活かして採用が増えてくれば、充填所などの作業でも一括読み取りや遠隔読み取りなどの機能を生かせるようになる」と今後のタグ利用の拡大に期待を寄せる。

なお遠隔・一括読み取りについては、今下期にも実施するための検討に入っているという。より遠くへ電波を飛ばせる中出力のハンディを使うか、ゲート通過方式など様々な方式を検討している。この他、大陽日酸も九州佐世保地区の西海ガスセンターでRFタグ容器の実運用を開始する予定であり、現在大興、福岡酸素、武田商事といった出資メンバーと準備を進めている。

インターネットとパソコンで、明日から容器管理。



今すぐクリック!

瓶豪 検索

<http://www.bingo-sys.com>

RFタグ/バーコード対応 クラウドコンピューティング
高圧ガス容器管理システム「瓶豪」。

- 低価格 インターネットとパソコンがあればスタート
- RFタグ/バーコード対応
- 専用サイトに業界情報も掲載
- 販売管理システムと連携可能(別売)

瓶豪

お問い合わせは
Iwatani Group
岩谷情報システム株式会社
TEL.06-7633-1500

ガス&エネルギーで未来を拓く

Iwatani

岩谷産業株式会社
産業ガス・溶材本部

<http://www.iwatani.co.jp>